

平成31年度「廃棄物の適正処理・水処理に係る調査研究助成制度」審査委員会
審査結果報告

令和元年6月25日
大阪湾広域臨海環境整備センター

大阪湾広域臨海環境整備センターが公益事業の一環として実施している大学・研究機関等における若手研究者の調査研究を対象とした助成制度の審査結果は以下の通りです。

なお、事務局は公益財団法人 廃棄物・3R研究財団が務めました。

◆応募状況

平成31年4月10日から令和元年5月10日の募集期間において、11件の応募がありました。

◆審査委員会概要

開催日： 令和元年6月10日
委員： 廃棄物処理、海域水環境保全に関する学識経験者 3名
審査方法： 審査委員による採点評価を基にした審査

◆審査結果

審査委員会において厳正な審査が行われ、その結果7件が平成31年度の助成対象として採択されました。下表に助成対象調査研究を示します。

表 助成対象調査研究一覧

申請者氏名 (50音順)	所属名	課題名
相子 伸之 (あいこ のぶゆき)	地方独立行政法人大阪府立環境農 林水産総合研究所 環境研究部 自然環境グループ	調整池設置型硝化/アナモックスシステムによる海面 埋立管理型処分場浸出水の窒素低減技術の開発 (その2)
佐藤 昌宏 (さとう まさひろ)	北海道大学大学院工学研究院 循 環共生システム研究室	焼却残渣資源化のための焼却主灰と飛灰の区画埋 立管理方法の提案(その3)
鈴木 祐麻 (すずき たすま)	山口大学大学院 創成科学研究科	陸上残土に含まれる重金属類の長期溶出性に関す る科学的知見の提供:残土に含まれる二酸化チタン の重要性評価(その2)
田中 周平 (たなか しゅうへい)	京都大学大学院地球環境学堂	廃棄物埋立処分場の排水処理プロセスにおける Microplasticsの低減効果と周辺環境への影響調査 (その2)
西村 文武 (にしむら ふみたけ)	京都大学大学院工学研究科都市環 境工学専攻	浸出水中窒素除去への嫌気性アンモニア酸化 (ANAMMOX)反応の適用と温室効果ガスの排出抑制 (その3)
日高 平 (ひだか たいら)	京都大学大学院工学研究科都市環 境工学専攻	生ごみと浄化槽汚泥の地域内循環による資源・エネ ルギー回収手法の開発
水谷 聡 (みずたに さとし)	大阪市立大学大学院工学研究科	高反応性消石灰に起因する焼却飛灰からの有機物 汚濁負荷に関する研究(その3)